

淑女検定

☑ チャレンジテーマ

布花

一枚の白い布から作る布花。おばあちゃん世代が若かりし頃、大人の女性たちの間で流行した手芸の一つ。今、再び注目を集めている。ワンピースに、麦わら帽子に。丁寧に作られた小さな花が、夏の装いを彩る。



問題 1 雌しべや雄しべの部分となる花材の名称は？

- A. ヒップ
- B. ポップ
- C. シップ
- D. ペップ

問題 2 布花作りに欠かせない道具「こて」。このうち用途として間違っているのはどれ？

- A. 葉脈を作る
- B. 花びらを作る
- C. 茎を作る
- D. つるを作る



問題 3 意外に硬い永田先生の布花。最初の段階で布に何をします？

- A. ヘアスプレーをかける
- B. のり付けする
- C. 凍らせる
- D. 湯通しする



SBS学苑
パルシェ校

今月の
先生



[布でつくるお花のアクセサリ]講師

永田 由美子 ながた ゆみこ

「布花はな＊はな」主宰

リネンなどさまざまな布を、オリジナルのデザインで
ブローチやチョーカーなどに仕立てる

SBS学苑パルシェ校
INFORMATION

8/8(水) 10:00~12:00

布でつくるお花のアクセサリ
1日講座 オレンジ色のボンボンデジー

受講料/2,052円(管理運営費込)
教材費/1,782円 講師/永田由美子

シャツや麦わら帽子などにつけて楽しむ
リネン布のブローチを作ります。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221

正解 & 解説

問題 1 → 正解 D

花の中心に雌しべや雄しべに似せた花芯の花材「ペップ」を入れると、自然界に咲く花のような愛らしさが引き立つ。花粉のように色を付けることもある。花の大きさや種類によってペップを選ぶ。永田先生は50種類以上を使い分けているという。時にはつぼみや実として使うこともある。布花は全体のバランスが大事。花びらだけでなく、そこに添える花芯やつぼみ、葉や茎のバランスを見ながら作品を仕上げていく。

問題 2 → 正解 D

布花には欠かせないのが高温のこて。こて先は約20種類ある。花びらに丸みを持たせる玉こて、シャクヤクなど花びらの細い筋を付ける筋こて、バイアスに切った布を丸めて茎を作る斜茎こて、花びらのへりを返すへり返しこてなど部位によって細かく使い分ける。布を裁つはさみも大小使い分ける。扱う生地は、極薄のオーガンジーから厚みのあるピロードまでさまざま。生地や花の種類に合わせて道具を選ぶ。

問題 3 → 正解 B

布花は、作家によってさまざまな作り方があるが、永田先生の作品の場合、最初の段階で生地をしっかりとり付けする。そのため、ふんわりした見た目の印象より硬く、簡単には型崩れしない。立体感のある花に仕上げるポイントは染め。色を均一にせず、根本に緑を入れたり、中心や花びらの先を少し暗くしたりすることで、花の表情が出る。「染めの工程が一番楽しいです。思い通りの色ができるとうれやうになります」と永田先生。